

# 事務事業チェックシート

事務事業No 768 事業名 子ども・子育て支援事業（子ども・子育て支援新制度）

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
基本方針	3	子どもが健やかに育つことができる環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		民生費
	項		児童福祉費
	目		児童福祉総務費
	大事業		児童福祉総務費
事項		子ども・子育て支援事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H25	～
事業実施の根拠法令	子ども・子育て関連3法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	子育て支援課	宮崎 久 435-1329
関連課	保育こども園課・地域保健課・青少年課・こども総合支援センター	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	幼稚園と保育所の幼保連携型制度を推進（認定子ども園拡充）			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	子どもが健やかに成長のできる社会の実現を目指し、①質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供②保育の量的拡大・確保③地域の子ども・子育て支援の充実を図る。	平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が施行されるに伴い、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保、地域の子ども・子育て支援の充実を目指し、市民へのニーズ調査を踏まえ、子ども・子育て会議において各事業の設備・運営等の基準を決定し、計画を策定、条例を制定する。公立保育所・幼稚園においては、幼保連携型認定こども園に移行。適正配置を検討し、地域において中心的な役割を担う施設として設置する。また、地域の子ども・子育て支援サービス適正量を検討し、充実した支援サービスを行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		子ども・子育て会議を開催しニーズ調査の結果を踏まえ、各事業の設備・運営等の基準を検討し、計画の策定を行う。	ニーズ調査の結果を受け、計画を策定、条例を制定し、27年4月の子ども・子育て支援新制度の施行に向け準備を行う。	公立保育所・幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行計画の推進。子育て支援サービスの進捗状況の検証を行う。	公立保育所・幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行計画の推進。子育て支援サービスの進捗状況の検証を行う。	公立保育所・幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行計画の推進。子育て支援サービスの進捗状況の検証を行う。

## 2 事業コスト

事業費等 千円	事業費	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	伸び率 (%)	6,364	3,768	1,926	3,710	897		897		897	
	人件費	-	-	-69.7%		-53.4%		0.0%		0.0%	
	常勤職員	26,769	27,215	27,215	26,020	26,020		26,020		26,020	
	非常勤職員										
	小計	26,769	27,215	27,215	26,020	26,020		26,020		26,020	
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源（税等）	6,364	3,768	1,926	3,710	897		897		897		
所要人数	3.58	3.58	3.58	3.50	3.50		3.5		3.5		
常勤職員											
非常勤職員											
主な予算内訳	委員報酬 665千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	子ども・子育て会議開催予定数	年度目標値				5	5	5	5	5	
		実績値				5	5				
	単位	全体目標値	5	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%			
	年度目標値										
		実績値									
	単位	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					
	成果指標	子ども・子育て会議開催数	年度目標値				5	5	5	5	5
			実績値				5	5			
		単位	全体目標値	5	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%		
年度目標値											
		実績値									
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「和歌山市子ども・子育て支援事業計画」、「和歌山市立認定こども園整備計画」を策定。支援事業計画については、各事業の充実を図り、年に1度会議を開催し進捗管理を行う。整備計画においては、計画どおりに進められるよう、関係各課との調整、地域住民の意見を考慮し、進めていきたい。
「見直し」 「改善」案	各計画においては、5年を目途に見直しを行い進めていきたいと考えている。